

＜ 改善報告書検討結果（藤女子大学） ＞

[1] 概評

2016（平成 28）年度の本協会による大学評価において、貴大学に対して、改善勧告として 1 項目、努力課題として 1 項目の改善報告を求めた。これを受けて、貴大学では、「自己点検・評価委員会」を中心に検討を行い、各学部・研究科において改善活動に取り組んできており、その成果も十分に上がっていることが確認できる。

特に、改善勧告については、教員組織（改善勧告No.1）に関して、文学部英語文化学科及び人間生活学部保育学科で大学設置基準上必要な教授数を満たしていなかったものの、教員の採用、昇任人事を積極的に進めたことにより、両学科ともに改善が認められる。

貴大学が掲げる理念・目的の実現のために、引き続き不断の改善・向上に取り組むことを期待したい。

[2] 今後の改善経過について再度報告を求める事項

なし

[3] 各指摘事項に対する改善状況

1. 努力課題について

No.	種 別	内 容
1	基準項目	5 学生の受け入れ
	指摘事項	人間生活学研究科において、収容定員に対する在籍学生数比率が 0.38 と低いので改善が望まれる。
	評価当時の状況	人間生活学研究科では、入学定員に対する入学者数比率が 5 年間平均で 0.40 と低迷していたことから、2015 年度の収容定員に対する在籍学生数比率も 0.38 と低い状況にあった。
	評価後の改善状況	入学者確保のため「大学院入試委員会」を中心として、募集活動を強化した。 2016 年度から、「もっと学びたい」在學生に向けては、在學生向け説明会の回数を年 2 回に増やし、あわせて学部のゼミ指導教員による啓発・広報を展開した。「もう一度学びたい」と考える社会人に対しては、本学卒業生の同窓の集いや郵送物等で大学

	院情報の発信を強化した。 さらに在学生・社会人双方を対象に、学部の夏のオープンキャンパスに連動した説明会を実施してきた。また、本学出身者の入学検定料（3 万円）及び入学申込金（10 万円）の免除などの経済的方策についても、募集要項に明記して周知を図ってきた。 これらにより、入学者数は、2017 年度 7 名、2018 年度 10 名、2019 年度は 5 名と推移し、在籍学生数は、2018 年度 18 名、2019 年度 19 名と増加し、収容定員に対する在籍学生数比率は 2018 年度 0.56、2019 年度 0.59 と上昇して、0.5 を超える状態が続いている。（資料 1-1-1、1-1-2、1-1-3）
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等 ・1-1-1 「学生の受け入れ状況(大学基礎データ表 3、2019 年 5 月 1 日)」 ・1-1-2 「2019 年度 学生の在籍状況(大学基礎データ表 4、2019 年 5 月 1 日)」 ・1-1-3 「収容定員に対する在籍学生数比率及び入学定員に対する入学者数比率(2016 年度～2019 年度)」

2. 改善勧告について

No.	種 別	内 容
1	基準項目	3 教員・教員組織
	指摘事項	文学部英語文化学科及び人間生活学部保育学科では、大学設置基準上原則として必要な教授数がそれぞれ 1 名不足しているので、是正されたい。
	評価当時の状況	文学部英語文化学科では大学設置基準上原則として必要な教授数が 3 名であるが、評価当時（2016 年）は 2 名であった。定年退職者の後任人事において教授職の適任者が採用できず、また准教授の昇格も要件を充足する者がいなかった。 人間生活学部保育学科では大学設置基準上原則として必要な教授数が 5 名であるが、評価当時（2016 年）は 4 名であった。昇格対象となる准教授は昇格の要件を充足しておらず、教授職の嘱託教

		員 1 名を配置し補完していた。
	評価後の改善状況	文学部英語文化学科では、「教員人事規程」に基づいて採用・昇格の人事を進めたが、2016 年度にはいずれも適任者が得られず、2017 年度に翌年度に向けた改善策として採用並びに昇任人事を行ない、2018 年 4 月より教授を 3 名とする体制を整えることができた。2019 年度は准教授からの昇格者を加えて、教授 4 名の体制となっている。(資料 2-1-1) 人間生活学部保育学科では、2016 年度末、2017 年度末にそれぞれ教授 1 名の定年退職者があり、2018 年度に教授 1 名を人間生活学科へ移籍した。「教員人事規程」に基づいて、2017 年度に教授 1 名（特別任用教員）を採用したが基準の教授数を充たせず、2018 年度に教授 4 名（内、特別任用教員 2 名）の採用ならびに准教授 2 名の昇格人事を行ない、教授を 8 名（内、特別任用教員 3 名）として体制を整えた。(資料 2-1-2) 2020 年度には、保育学科を改組しあらたに「子ども教育学科」を設置するため、2019 年度さらに教授 1 名（特別任用教員）を採用し、教授 9 名（内、特別任用教員 4 名）の体制となっている。(資料 2-1-1)
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等 ・2-1-1 「2019 年度 教員組織(大学基礎データ表 2、2019 年 5 月 1 日)」 ・2-2-2 「藤女子大学特別任用教員規程」	

以 上